



礼高だより

第10号

令和 3年 3月24日

北海道礼文高等学校

<http://www.rebun.hokkaido-c.ed.jp>



「明るい未来がくることを信じて」

礼文高等学校長 齊藤 雄大

保護者及び地域の皆様方におかれましては、本校の教育活動に対し、多大なるご理解とご支援をいただき心から感謝申し上げます。

3月1日、10名の若者たちが、ご来賓及び保護者の皆様方に見守られながら、三年間学んだ校舎を後にしました。志望大学合格に向けて朝や昼

休み、そして放課後遅くまで学習に取り組んでいた生徒、専門職を身に付けるために上級学校へ進学した生徒、地域のために貢献しようと就職した生徒、このコロナ禍の時代ではあるが、何とか全校生徒が一つになる行事を企画・運営した生徒など、自分の持っている力を最大限に生かそうと努力していた生徒たちでした。改めまして、今後の活躍に期待します。

さて、今年度は、昨年4月中旬から5月末までの臨時休校、学校祭や見学旅行の中止、海外交流事業の延期など、教育活動に大きな支障をきたすことばかりでした。このような状況ではありましたが、生徒は、学習に、部活動に、行事に、友人との交流など、感染対策の徹底を図りながら、一生懸命何事にも積極的かつ前向きに取り組んでいました。生徒一人一人の言動をとっても誇りに思っております。今後、必ず明るい未来がくることを信じ、前を向いて一步一步進み、さらなる成長を願うばかりです。

結びになりますが、本校の特徴である少人数指導を生かし、生徒一人一人を大切にする教育活動を進めていくとともに、地域に信頼され、地域と密着した学校づくりの推進に努めていきますので、今後ともご支援いただきますようよろしくお願い申し上げます。

誠実・進取を胸に ~第41回卒業証書授与式~

3月1日（月）来賓・保護者・在校生・教職員に見守られ10名が学び舎を巣立ちました。

齊藤雄大校長は式辞で「強い心を持ち、失敗を恐れることなく、自分の可能性を信じ、常に元気よくやる気を出し、本気になってこの厳しい社会を乗り越えてください」と励ましの言葉を贈りました。

送辞では多田生徒会長が「皆さんが見せてくれた礼文高校生としてのあるべき姿や、行事・授業などに対する姿勢を目標に、皆さんのような礼文高校生となれるように努力していきます」と感謝を伝えました。

答辞では山内前生徒会長が「本日をもって私達はみなさんに次のバトンを渡すこととなります。どうかこのバトンを次へまた次へと繋いでください。先輩達や私達がこの学び舎で過ごした歴史を途絶えさせないよう、繋いで行ってください。この学校で得た絆と力、『誠実・進取』の校訓を胸に、一步一步道なき道を歩いて行きます」と在校生に希望と決意を語りました。

式終了後は保護者参観のもと最後のホームルームを行い「担任の思い」、「子ども達からの感謝」、「保護者からの励ましの言葉」と温かく豊かな時間を共有しました。これからは、違う場所、違う立場で厳しい社会を歩んで行きます。この日を思い出しながら力強く進んでほしいと願います。



4月行事予定

8日（木）着任式・始業式・入学式	21日（水）生徒総会
9日（金）対面式・部活動体験入部期間（19日）	22日（木）内科検診・心電図検査
13日（火）進路面談（3年）身体測定	26日（月）職場体験実習（3年）（27日）
16日（金）前期HR役員認証式	30日（金）防犯・交通安全教室

HPもご覧ください。



お世話になりました



教頭 長田 淳
石狩管内
札幌琴似工業高校
3月31日 終便離島予定

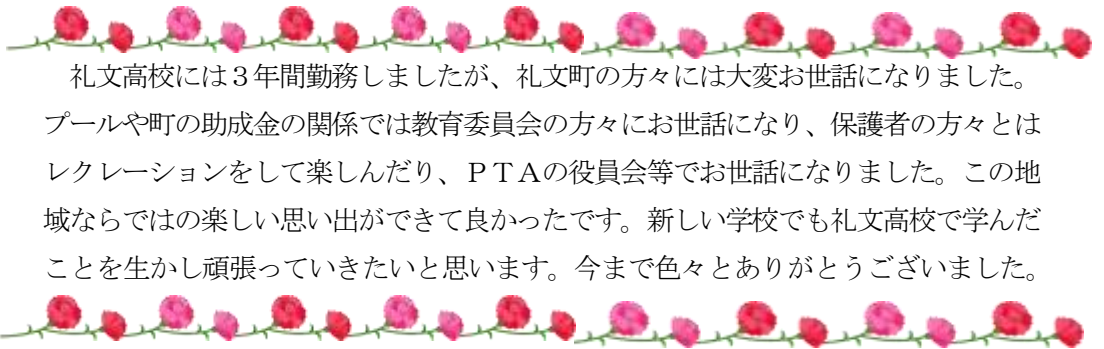
礼文高校にきて2年間が経ちました。着任した時は何もかもが初めてで不安が大きかったのですが、礼文高校では純朴な生徒や豊かな自然環境の中で色々な事を学ぶ事ができました。また、礼文高校では学校行事での生徒のふれあい、PTAレク等で保護者の方々と楽しい思い出をつくることができました。

全国募集等では礼文町には大変お世話になり、改めて地域の大切さや礼文町の素晴らしさを経験することができました。この経験を次の学校でも活かして頑張ります。ありがとうございました。



事務長 山田 芳範
釧路管内
阿寒高校
3月31日 終便離島予定

礼文高校には3年間勤務しましたが、礼文町の方々には大変お世話になりました。プールや町の助成金の関係では教育委員会の方々にお世話になり、保護者の方々とはレクリエーションをして楽しんだり、PTAの役員会等でお世話になりました。この地域ならではの楽しい思い出ができて良かったです。新しい学校でも礼文高校で学んだことを生かし頑張っていきたいと思います。今まで色々ありがとうございました。



高山植物実習

3月15日(月)、久種湖で1年生が高山植物の実習を行いました。昨年4月の実習で観察したミズバショウの新芽を、雪を掘って観察しました。積雪は1mほどあり、階段を作って地面まで掘りました。なかなかミズバショウを見つけれない班もありましたが、中には大きなミズバショウを見つけれ班もありました。生徒達は、時間いっぱい、いきいきと作業に取り組んでいました。雪の下で芽を出し、ミズバショウは春に向けて準備をしています。来月には、新1年生がそのミズバショウを観察する予定です。

これで今年度の実習は終了となります。村上様をはじめ、お世話になった皆さんに感謝申し上げます。次年度もよろしくお願いします。



第2回進路講話

3月19日(金)、卒業生(3年生)7名を講師に迎え令和2年度第2回進路講話を実施しました。

全体会で進路を決めた時期や動機、目標に向けた取組、礼文高校について、後輩へのメッセージを一人ひとりが実体験を通して語ってくれました。その後は「専門学校」「就職・公務員」「大学受験」の3グループに分かれ質疑応答をしました。在校生に「不安な時はどう乗り越えましたか？」などの質問に卒業生は丁寧に率直に答えていました。時間が足りず放課後も質問を受けてくれた卒業生もいて、在校生にはとても貴重な時間となりました。



令和2年度 学校評価

